



Title	北海道大学映像・現代文化論学会彙報
Citation	層 : 映像と表現, 12, 189-191
Issue Date	2020-03-10
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/76907
Type	bulletin (other)
File Information	gakkai_ihou.pdf



[Instructions for use](#)

北海道大学映像・現代文化論学会 彙報

(肩書きの記載のないものは、映像・現代文化論研究室教員)

◎主催 北海道大学大学院文学研究院

映像・現代文化論研究室

◆映像・現代文化論講演会

◎日程 二〇一九年五月九日(木) 五校時

一六時三〇分～一八時

◎会場 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟

W三〇八教室

「日本における映画アーカイビングの問題点」

講師 京都大学教授 ミツヨ・ワダ・マルシアーノ

司会、講師紹介 小川佐和子

◆映像・現代文化論講演会

◎日程 二〇一九年六月一日(火) 五校時

一六時三〇分～一八時

◎会場 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟

W四〇九会議室

「日本の映画理論をなぜ読むべきなのか」

講師 イェール大学教授 アーロン・ジェロー (Aaron Gerow)

司会、講師紹介 小川佐和子

◆第三回 北海道大学映像・現代文化論学会大会

◎日程 二〇一九年十一月九日(土) 一〇時～一七時三〇分

◎会場 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟

W四〇九会議室

《プログラム》

総合司会 水溜真由美

・開会の辞 中村 三春

○研究発表

宮澤賢治「春と修羅」論

——光、歩み及び詩の構造の関係性を中心に

博士後期課程 クジエル・イジー
司会 博士後期課程 中村 建

博士後期課程 朱 偉
司会 博士後期課程 龔 金浪

ジョン・カサヴェテス『アメリカの影』における
演出理論と身体表現

○講演

九〇年代スピルバーグと「リアル」の変容

——『ジュラシック・パーク』論

博士後期課程 堅田 諒
司会 博士後期課程 黄 也

早稲田大学教授 藤井 仁子
講師紹介 小川佐和子

タル・ベーラ監督の映画空間について

——初期の映像作品を中心に

博士後期課程 モルナール・レヴェンテ

司会 修士課程 崔 文婕

◆活動写真弁士 片岡一郎氏実演会

・閉会の辞

応 雄

ゲームサウンドの地域コンテンツとしての可能性

——『ポケットモンスター 赤・緑』を中心に

博士後期課程 杉本 圭吾

司会 博士後期課程 酒井駿太郎

◎会場 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟

W二〇一/W二〇二研究室

言葉を撮る

——王兵『鳳鳴——中国の記憶』における

証言とフィクションについて

前説

演目・時代劇 マキノ正博監督『血煙高田の馬場』（一九三七）

《次第》

・アニメーション 紙フィルム『スタコラサッチャン大手
柄』（昭和初期）

・現代劇 小津安二郎監督『大学は出たけれど』（一九二九）

・コメディ バスター・キートン『キートンの文化生活一

週間』（一九二〇）

トーク（司会 小川佐和子）

質疑応答